



【平成30年度衛生科幹部等集合訓練】

平成31年1月23日

自衛隊札幌病院（病院長 大鹿陸将）は、平成31年1月23日（水）平成30年度衛生科幹部等集合訓練（第62回北部防衛衛生学会）を開催しました。学会長（病院長 大鹿陸将）は、本学会テーマ『北部方面隊の衛生支援を考える—人的戦闘力の維持・増進—』を宣言し、積極的な質問と議論により「何か」を部隊等へ持ち帰ってほしいと述べました。北部方面総監（田浦陸将）は、「隊員達の使命感とストレス」と題した講話において、指揮官として参加した国際平和協力活動時や災害派遣活動時のエピソードなどを交え、任務を果たす気概に満ちた隊員の「健康情報共有の重要性」や「心が疲弊した際の対応」、それとともに、指揮系統とは別の専門的見地から横串を入れる衛生科に対する期待について述べました。

教育講演は、宇宙航空研究開発機構（JAXA）金井宣茂 宇宙飛行士（防医大23期）が、「過酷な環境に耐えるためのセルフマネジメント」と題し、宇宙空間における船外活動や重要ミッション遂行時の体験談、希望を夢で終わらせないための心構えなどについて述べられました。特別講演は、北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室Ⅱ（医学教育推進センター）村上壮一 教育助教が、「外傷診療におけるシミュレーション教育」と題し、識能向上の礎となる「興味」を如何に持たせるかについて述べられました。

一般演題は、部隊・業務隊等から8題の発表があり、北千歳駐屯地業務隊衛生科と帯広駐屯地業務隊補給科が優秀演題として表彰されました。特別演題「北海道胆振東部地震災害派遣の教訓と提言」においては、第7後方支援連隊衛生隊長 小野陽輔2佐、前第7師団司令部医務官 末山貴浩2佐、当院救急科部長 岩本慎一郎1佐の3名が、最前線の様相や教訓事項などについて発表しました。

「メディカルレディネスを考える」をテーマとしたパネルディスカッションは、陸上幕僚監部衛生部 医務・保健班長、北部方面総監部医務官、当院健康管理課長など7名のパネラーが発表した後、「メディカルレディネスの確立」に関する現状と課題について討論を重ね、派遣隊員の心身の健全性を如何に保ち、如何に部隊の任務完遂に寄与するかを検討してゆく上での資としました。



学会長（大鹿陸将）による開会挨拶



北部方面総監（田浦陸将）による講話



特別演題
北海道胆振東部地震災害派遣の教訓と提言



宇宙飛行士 金井宣茂氏による教育講演



北大教育助教 村上壮一氏による特別講演



パネルディスカッション